

田尻町教育委員会
点検・評価報告書
(平成28年度実施事業)

平成29年9月
田尻町教育委員会

はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条の規定により、教育委員会は、自らが毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（以下「点検・評価」という。）を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することが義務付けられました。

また、点検・評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされています。

本報告書は、同法に基づき田尻町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検・評価を行い、教育に関する学識経験者の意見を付して取りまとめたものです。

今後とも点検評価の結果を事業改善に役立てながら、よりよい教育の実現を目指してまいりたいと考えますので、皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成 29 年 9 月

田尻町教育委員会

目 次

1	点検評価の概要	1
	(1) 点検・評価の目的	1
	(2) 点検・評価の方法	1
	(3) 学識経験者の知見活用	1
2	平成28年度田尻町教育方針	2
3	平成28年度田尻町教育目標	2
	◇学校教育	2
	◇家庭教育・幼児教育	3
	◇社会教育	3
4	田尻町教育委員会の教育行政・教育財政	4
	(1) 教育行政	4
	(2) 教育財政	10
5	点検評価	13
	委員会活動評価委員の意見(外部評価)	13

平成29年度 田尻町教育委員会 点検・評価票(平成28年度実施事業)

○学校教育

◆「生きる力」を育む『保幼小中一貫教育』の推進

・小中一貫教育推進事業(国際理解教育推進事業を含む)	16
・英語指導助手(ALT)配置事業	17
・人権教育推進事業	18
・特別支援・教育相談等事業	19
・学校給食事業	20
・学校園介助員配置事業	21
・小・中学校就学奨励事業	22
・クラブ活動奨励事業	23
・教員の資質向上・能力向上事業	24
・教育行政円滑推進事業	25
・適切な学校評価と学校評議員制度の活用	26
・教育コミュニティづくり推進事業	27
・放課後児童健全育成事業(なかよし学級)	28
・教育情報の発信事業	29

◆教育環境の整備充実

・小・中学校施設・整備の充実事業	30
・防災教育の充実と危機管理体制の確立	31

○家庭教育・幼児教育

◆『生きる力』を育むための基盤づくり

・幼稚園経営事業	32
・幼稚園給食事業	33
・幼稚園就園補助事業	34

○社会教育

◆生涯学習の推進

・生涯学習推進事業	35
・社会教育団体育成事業	36
・子ども・若者育成支援事業	37
・生涯スポーツ振興事業	38
・泉州国際市民マラソン事業	39

◆郷土の歴史文化の理解と文化財の保存・活用

・町史編纂・文化財保護事業	40
---------------	----

1 点検・評価の概要

(1) 点検・評価の目的

教育委員会は、首長から独立した立場で、地域の学校教育、社会教育等に関する事務を担当する行政機関として、すべての都道府県及び市町村等に設置されている行政委員会です。

その役割は、専門的な行政官で構成されている事務局を様々な属性を持った複数の委員による合議により指揮監督し、中立的な意思決定を行うものとされています。

教育委員会が、教育に関する事務の管理及び執行状況を点検・評価することにより、効果的な教育行政の一層の推進を図るとともに、住民への説明責任を果たし、住民に信頼される教育行政を推進することを目的としています。

(2) 点検・評価の方法

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に規定する教育委員会の権限に属する事務のうち、教育方針・教育目標に掲げた主要な施策・事業についての事務の管理及び執行状況を点検・評価個票により各所管課が可能な限り定量評価を実施しています。

(3) 学識経験者の知見活用

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条第 2 項の規定に基づき、点検・評価の実施及び報告書の作成にあたっては、評価委員として元教育長の道浦達久氏、二澤隆史氏より総合的な観点からご指導・ご助言をいただきました。

【参 考】

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務〔前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。〕の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 平成 28 年度田尻町教育方針

21 世紀の大きく変動する社会情勢の中、子どもたちに求められているのは自分の個性を伸ばしながら、価値観の変動する時代をたくましく生きぬいていく力であり、本町の教育は、「第 4 次田尻町総合計画」に掲げる『「生きる力」を育む 保幼小中 一貫教育の推進』を実現するため、家庭・地域から信頼される安全・安心な学校園所づくりに努め、確かな学力を身につけた心豊かでたくましい「田尻の子」を育むことでもあります。

学校教育では、「本町がめざす子ども像」の実現に向け、外国語活動・英語教育を柱として、国際社会を主体的に生きる上で必要な資質や能力を培うとともに、道德教育のさらなる充実により、豊かな心を持った児童・生徒を育成する保幼小中一貫教育に取り組んでまいります。そのためには、教職員の協働、保護者や地域の理解・協力により、子どもたちが健やかに育つ教育環境づくりに努めます。

家庭教育、幼児教育では、一元化保育に基づいた一貫性のある保育・教育ができるよう、保育内容の充実を図り、小・中学校と連携して学びの連続性を確保していきます。また、家庭での子育てが将来の人格形成に大きな役割を果たすことを認識し、保護者への積極的な子育て支援を行っていきます。

社会教育では、町民の一人ひとりが生涯を通じて、生き生きと学ぶことができるまちづくりの形成に取り組めます。町民の自主的な社会参加活動の成果を活かして地域に還元できる環境づくりに取り組み、学習機会の確保や情報提供の充実にも努めます。そのためには、生涯学習推進の拠点施設である公民館における様々な活動の積極的取り組みと社会教育団体等との連携を推進することなどにより、地域が主体となった教育環境の充実と学校・家庭・地域をつなぐ教育コミュニティの醸成に努めます。

また、これまで起こった自然災害の教訓を生かして、子どもたちが自らの命を守りぬくための、主体的な態度の育成に努めると共に、交通安全や不審者への対応など、実践的な態度を培うことは、「生きる力」を育むことにつながるため、関係機関と連携しながら、組織的・計画的な防災教育及び安全教育の推進に努めます。

3 平成 28 年度田尻町教育目標

◇学校教育

1 「生きる力」を育む『保幼小中一貫教育』の推進

(1) 「確かな学力」を培う教育の推進

- ・就学前からの外国語活動・英語教育の推進
- ・少人数指導、習熟度別指導等による授業方法の工夫・改善
- ・基礎基本の定着と学習習慣確立に向けた放課後学習支援体制の推進
- ・発達段階に応じた読書活動の推進
- ・ICT を活用した教育の推進

(2) 「豊かな心」と「健やかな体」の育成

- ・心に響く道德教育の充実
- ・実践的な態度を養う人権教育の推進
- ・個別の教育支援計画の活用による特別支援教育の推進
- ・関係機関との連携を密にした教育相談機能の充実
- ・学校給食の充実と食育の推進
- ・全教育活動をとおして行う児童生徒の体力向上

- (3) 教員の資質・能力の向上
 - ・教職員のニーズに応じた研修の実施
 - ・教員一人ひとりの授業力向上につながる支援の実施
 - ・評価、育成システムの活用
- (4) 地域に開かれた信頼される学校園所づくり
 - ・適切な学校評価と学校評議員制度の活用
 - ・家庭や地域に対する積極的な教育情報の発信
 - ・教育コミュニティへの参画協働

2 教育環境の整備充実

- (1) 学校施設の整備
 - ・小学校及び給食場における非構造部材等耐震改修工事
 - ・中学校における非構造部材等耐震改修実施設計
 - ・ICT 環境整備の推進
- (2) 学校安全体制の確保
 - ・防災教育の充実とさまざまな事態を想定した危機管理体制の確立

◇家庭教育・幼児教育

- 1 『生きる力』を育むための基盤づくり
 - (1) 幼保一元化によるさらなる保育・教育内容の充実
 - (2) 保育所・幼稚園と小・中学校との連携推進
 - (3) 保育所・幼稚園における子育て支援体制の充実

◇社会教育

- 1 生涯学習の推進
 - (1) 各種団体との連携および自主運営にむけた支援による活性化
 - (2) 教育コミュニティの醸成（学校支援地域本部事業）
 - (3) 青少年の健全育成と豊かな社会性の涵養
 - (4) 公民館活動の活性化
 - (5) 生涯スポーツの振興
- 2 郷土の歴史文化の理解と文化財の保存・活用
 - (1) 歴史館耐震診断及び更なる活用方法の検討等

4 田尻町教育委員会の教育行政・教育財政

(1) 教育行政

ア 教育委員会

教育の中立と教育行政の安定性を確保し、教育・文化の振興を図るため、田尻町の教育に関する業務は、町長から独立した行政委員会である教育委員会が担っています。

田尻町教育委員会は、教育長と4人の委員で構成されています。教育長は教育行政に関する識見を有する者のうちから、委員は教育・学術及び文化に関する識見を有する者のうちから、それぞれ議会の同意を得て町長が任命します。任期は教育長が3年間、委員が4年間です。

イ 教育委員

平成28年度

氏名	職務	任期
和田 弘之	教育長	平成27年4月1日 ～ 平成30年3月31日
堀江 正也	教育長職務代理者	平成23年10月1日 ～ 平成31年9月30日
庄司 直子	委員	平成12年11月10日 ～ 平成32年11月9日
濱田 智美	委員	平成22年10月1日 ～ 平成30年9月30日
矢嶋 清美	委員	平成24年10月1日 ～ 平成32年9月30日

ウ 教育委員会会議

教育委員会会議は毎月開催しています。平成28年度は定例会議を12回開催し、議案30件、報告事項35件を審議承認しています。各会議の議決案件等は下記のとおりです。

第1回定例会議 平成28年4月1日開催

- 議案第1号 田尻町立学校の府費負担教職員の勤務時間、休日、休暇等に関する規則の一部改正について
- 議案第2号 平成27年度第12回田尻町教育委員会会議録の承認について
- 議案第3号 田尻町学校給食費徴収規則の全部改正について
- 議案第4号 平成28年度 田尻町教育方針、教育目標について
- 報告第1号 平成27年度末、28年度当初田尻町立学校教職員等人事異動について
- 報告第2号 平成28年度 教育関係予算について
- 報告第3号 教育委員会関係行事について

第2回定例会議 平成28年5月20日開催

- 議案第5号 平成28年度第1回田尻町教育委員会会議録の承認について
- 報告第4号 田尻町スポーツ推進委員の委嘱について
- 報告第5号 後援名義使用承認「中学校・高等学校進学フェア」について
- 報告第6号 後援名義使用承認「①子どもの声を聴く「チャイルドラインはらっば」の開催
②チャイルドライン受け手ボランティア養成講座の開催」について
- 報告第7号 教育委員会関係行事について

第 3 回定例会議 平成 28 年 6 月 10 日開催

- 議案第 6 号 田尻町私立幼稚園就園補助金交付規則の一部改正について
- 議案第 7 号 平成 28 年度第 2 回田尻町教育委員会会議録の承認について
- 報告第 8 号 後援名義使用承認「MOA美術館泉佐野田尻児童作品展」について
- 報告第 9 号 後援名義使用承認「モラロジー生涯学習セミナー」について
- 報告第 10 号 後援名義使用承認「第 53 回教育者研究会」について
- 報告第 11 号 後援名義使用承認「田尻町人権協会平成 28 年度総会記念講演」について
- 報告第 12 号 教育委員会関係行事について
- 報告第 13 号 後援名義使用承認に係る追加事項について

第 4 回定例会議 平成 28 年 7 月 15 日開催

- 議案第 8 号 平成 29 年度使用小学校・中学校教科用図書の採択について
- 議案第 9 号 後援名義の使用「第 42 回 大阪府小学校国語科教育研究大会（泉南地区大会）」について
- 議案第 10 号 平成 28 年度第 3 回田尻町教育委員会会議録の承認について
- 報告第 14 号 後援名義使用承認「「伝えよう」いのちのつながり」について
- 報告第 15 号 後援名義使用承認「第 13 回 泉州 Y O S A K O I 忽えじゃないか祭り」について
- 報告第 16 号 後援名義使用承認「第 24 回泉州国際市民マラソン大会」について
- 報告第 17 号 後援名義使用承認「おじいちゃん・おばあちゃんと童謡・唱歌と昔遊び体験活動」について
- 報告第 18 号 後援名義使用承認「関西学院グリークラブ合唱コンサート」について
- 報告第 19 号 教育委員会関係行事について

第 5 回定例会議 平成 28 年 8 月 19 日開催

- 議案第 11 号 「田尻町教育委員会点検・評価報告書－平成 27 年度－」について
- 議案第 12 号 田尻町附属機関条例の一部改正について
- 議案第 13 号 田尻町多目的グラウンド及び田尻町営プール指定管理者候補者選定委員会規則の制定について
- 議案第 14 号 後援名義使用承認「たじり子ども防災キャンプ～ジュニア防災リーダー養成～」について
- 議案第 15 号 平成 28 年度第 4 回田尻町教育委員会会議録の承認について
- 報告第 20 号 後援名義使用承認「第 5 回 あのねフェスティバル」について
- 報告第 21 号 教育委員会関係行事について

第 6 回定例会議 平成 28 年 9 月 9 日開催

- 議案第 16 号 「第 56 回近畿地区中学校技術・家庭科研究大会（大阪大会）」の後援名義使用承認申請について
- 議案第 17 号 平成 28 年度第 5 回田尻町教育委員会会議録の承認について
- 議案第 18 号 田尻町立学校の府費負担教職員の勤務時間、休日、休暇等に関する規則の一部改正について
- 報告第 22 号 教育委員会関係行事について

第 7 回定例会議 平成 28 年 10 月 14 日開催

- 議案第 19 号 平成 28 年度第 6 回田尻町教育委員会会議録の承認について
報告第 23 号 教育委員会関係行事について

第 8 回定例会議 平成 28 年 11 月 25 日開催

- 議案第 20 号 田尻町多目的グラウンド・田尻町営プール指定管理候補者の選定について
議案第 21 号 後援名義使用承認「たじり人権のつどい 2016」について
議案第 22 号 大阪府泉南地区 5 市 3 町の教育委員会と和歌山大学教育学部との包括連携協力に関する協定書について
議案第 23 号 平成 28 年度全国学力・学習状況調査～田尻町の結果概要～について
議案第 24 号 平成 28 年度第 7 回田尻町教育委員会会議録の承認について
報告第 24 号 後援名義使用承認「育てあい 育ちあいフェスタ 2017～つながりはぬくもり 13」について
報告第 25 号 後援名義使用承認「2016 イルミネーション in たじり」について
報告第 26 号 後援名義使用について「小学生の税に関する習字の表彰及び展示」
報告第 27 号 後援名義使用について「平成 28 年度泉南郡小学校音楽会」
報告第 28 号 教育委員会関係行事について
報告第 29 号 後援名義使用について「第 40 回泉南人研研究集会」

第 9 回定例会議 平成 28 年 12 月 9 日開催

- 議案第 25 号 平成 28 年度第 8 回田尻町教育委員会会議録の承認について
報告第 30 号 教育委員会関係行事について

第 10 回定例会議 平成 29 年 1 月 13 日開催

- 議案第 26 号 平成 28 年度第 9 回田尻町教育委員会会議録の承認について
議案第 27 号 田尻町立学校の府費負担教職員の勤務時間、休日、休暇等に関する規則の一部改正について
報告第 31 号 後援名義使用承認「くら 1 たんワイワイ祭り」について
報告第 32 号 後援名義使用承認「たじりワイワイフェスタ 2017」について
報告第 33 号 教育委員会関係行事について

第 11 回定例会議 平成 29 年 2 月 3 日開催

- 議案第 28 号 平成 28 年度第 10 回田尻町教育委員会会議録の承認について
報告第 34 号 教育委員会関係行事について

第 12 回定例会議 平成 29 年 3 月 10 日開催

- 議案第 29 号 田尻町教育委員会における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領の制定について
議案第 30 号 平成 28 年度第 11 回田尻町教育委員会会議録の承認について
報告第 35 号 教育委員会関係行事について

エ 教育委員の活動状況

○研修等

①泉南郡三町教育委員会連絡協議会定期総会・研修会

日 時 平成 28 年 5 月 2 日 (月) 午後 2 時～午後 3 時 30 分

場 所 熊取町教育・子どもセンター

内 容 定期総会

研修会 講演「大阪府教育庁の教育施策について」(大阪府教育庁市町村教育室
小中学校課課長 坂本暢章氏)

出席委員 教育長、教育長職務代理人、委員 2 名

②大阪府町村教育委員会連絡協議会定期総会・研修会

日 時 平成 28 年 5 月 25 日 (水) 午後 2 時～午後 4 時 15 分

場 所 ホテルアウリーナ大阪

内 容 定期総会

研修会 講演「次世代の学校・地域」の創生のために～地域と学校の連携・協働
を中心として～(文部科学省 初等・中等教育局 参事官 学校運
営支援企画課 藤原一成氏)

出席委員 教育長、教育長職務代理人、委員 1 名

③大阪府町村教育委員会連絡協議会夏季研修会

日 時 平成 28 年 8 月 18 日 (木) 午後 1 時～午後 4 時

場 所 田尻町総合保健福祉センター

内 容 研修会 講演「大阪府の子どもの体力向上に向けた体育授業の創造」(大阪体育
大学体育学部スポーツ教育学科体育科教育コース准教授 小林博
隆氏)

施設紹介 田尻漁港の取組紹介

施設見学 田尻漁港

出席委員 教育長、教育長職務代理人、委員 3 名

④大阪府市町村教育委員会研修会

日 時 平成 28 年 11 月 8 日 (火) 午後 2 時～午後 4 時

場 所 ホテルアウリーナ大阪

内 容 講演 震災から学ぶ「地域で支える人づくり」(岩手県上閉伊郡山田町教育委員
会 教育次長兼学校教育課長 箱山智美氏)

出席委員 教育長、教育長職務代理人、委員 2 名

⑤泉南地区教育委員研修会

日 時 平成 28 年 11 月 25 日 (金) 午後 3 時 30 分～午後 5 時 30 分

場 所 岸和田市学校給食センター

内 容 講演 「学校給食と人生」(元岸和田市立小学校園 校園長 中曾邦輔氏)

出席委員 教育長、教育長職務代理人、委員 3 名

⑥田尻町教育委員会行政視察

日 時 平成 29 年 2 月 24 日（金）午前 10 時 30 分～午後 3 時 30 分
場 所 田尻町教育委員会
内 容 平成 23 年台風 12 号災害の田尻町教委の対応について
伏菟野深層崩壊について
新庄地震学について
（田尻町教育委員会指導主事 嶺口善一氏ほか）

⑦大阪府町村教育委員会連絡協議会研究会

日 時 平成 29 年 3 月 1 日（水）午前 10 時 30 分～午後 3 時 00 分
場 所 能勢ささゆり学園、能勢町浄るりシアター
内 容 施設見学 能勢ささゆり学園、能勢町浄るりシアター
出席委員 教育長、委員 3 名

○教育委員の学校等施設訪問及び校長園長所長事務局との意見交換会

教育委員が教育行政の充実に資するため、学校の現状や教職員の考え等を把握することを目的に中学校長、小学校長、幼稚園長、保育所長との意見交換を行いました。

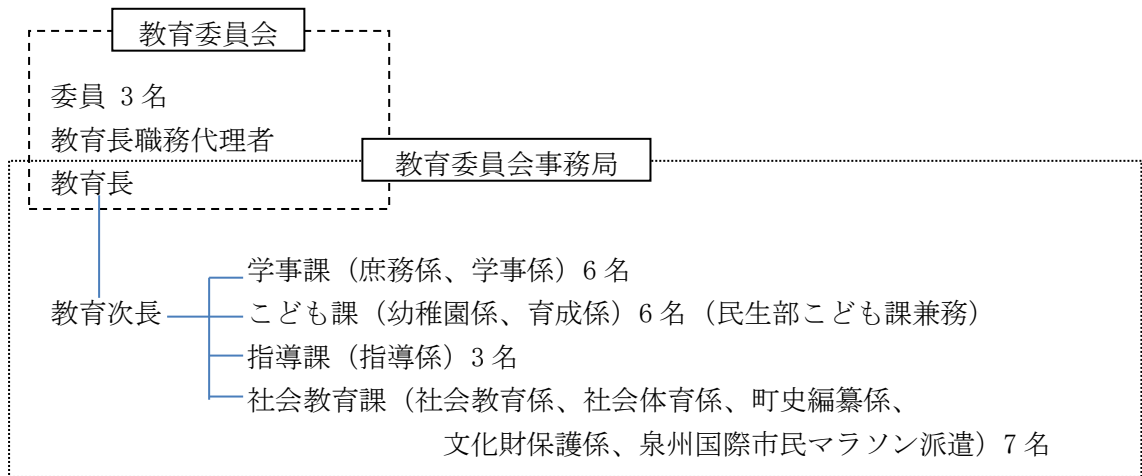
日 時 平成 28 年 5 月 20 日（金）
訪 問 校 田尻町立中学校、田尻町立小学校
出席委員 教育長、教育長職務代理者、委員 3 名

○教育委員関係行事等への参加

平成 28 年度中に教育委員が教育委員会各課の所管する行事等に参加しました。

平成 28 年	4 月 1 日（金）	保育所入所のつどい
	4 月 6 日（火）	中学校入学式
	4 月 7 日（水）	小学校入学式
	4 月 11 日（月）	幼稚園入園式
	6 月 4 日（土）	小学校運動会
	9 月 21 日（水）	中学校体育大会
	10 月 1 日（土）	幼稚園・保育所運動会
	11 月 4 日（金）	中学校合唱コンクール
	12 月 3 日（土）	幼稚園・保育所音楽会
平成 29 年	1 月 10 日（日）	成人式
	3 月 14 日（火）	中学校卒業式
	3 月 16 日（木）	小学校卒業式
	3 月 17 日（金）	幼稚園・保育所修了式

オ 教育委員会の組織と事務局職員数（平成 28 年 4 月 1 日現在）



(2) 教育財政

ア 教育費の推移

下表は、平成 24 年度の決算額を基準の指数とした過去 4 年間の決算額を各項目別に比較しています。

(単位:千円)

	平成24年度	指数	平成25年度	指数	平成26年度	指数	平成27年度	指数	平成28年度	指数
教育費総額 (A)	492,810	100	458,091	93	450,204	91	447,922	91	513,210	104
教育総務費	128,796	100	118,458	92	114,661	89	117,015	91	119,329	93
小学校費	64,950	100	40,634	63	50,055	77	54,315	84	107,691	166
中学校費	29,700	100	70,965	239	37,170	125	35,425	119	36,267	122
幼稚園費	59,919	100	47,342	79	56,577	94	59,617	99	54,927	92
学校給食費	60,621	100	61,593	102	62,738	103	63,268	104	63,795	105
社会教育費	94,092	100	94,731	101	95,062	101	105,871	113	118,895	126
保健体育費	54,732	100	24,368	45	33,941	62	12,411	23	12,306	22
一般会計歳出 (B)	4,628,587	100	5,022,142	109	4,788,394	103	5,226,614	113	5,520,254	119
A/B	10.6%		9.1%		9.4%		8.6%		9.3%	

イ 教育施設

(※在籍園児・児童・生徒数は、平成 28 年 5 月 1 日現在)

■田尻町立幼稚園

- ・所在地 大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺 432 番地 1
- ・敷地面積 3,721 m²
- ・構造・建築年 鉄筋コンクリート造 2 階建 (平成 15 年築)
- ・在籍園児数 3 歳児 15 人 (1 学級)、4 歳児 23 人 (2 学級)、5 歳児 25 人 (2 学級)
※保育所児との混合編成

■田尻町立小学校

- ・所在地 大阪府泉南郡田尻町吉見 690 番地
- ・敷地面積 8,599 m²
- ・構造・建築年 旧 館：鉄筋コンクリート造 3 階建 (昭和 35 年築)
新 館：鉄筋コンクリート造 3 階建 (昭和 50 年築)
管理棟・体育館：鉄筋コンクリート造 3 階建 (昭和 61 年築)
給食室：鉄骨造平屋建 (昭和 50 年築)
- ・在籍児童数 1 年生 75 人 (3 学級)、2 年生 86 人 (3 学級)、3 年生 96 人 (3 学級)
4 年生 93 人 (3 学級)、5 年生 72 人 (3 学級)、6 年生 101 人 (3 学級)
支援 26 人 (5 学級)

■田尻町立中学校

- ・所在地 大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺 412 番地 1
- ・敷地面積 8,351 m²
- ・構造・建築年 旧館：鉄筋コンクリート造 3 階建(昭和 38 年築)
新館：鉄筋コンクリート造 3 階建(昭和 52 年築)
体育館：鉄筋コンクリート造 2 階建(昭和 44 年築)
給食室：鉄骨造平屋建(昭和 50 年築)
- ・在籍生徒数 1 年生 88 人(3 学級)、2 年生 82 人(3 学級)、3 年生 89 人(3 学級)
支援 3 人(2 学級)

■田尻町立公民館

- ・所在地 大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺 1120 番地 2
- ・敷地面積 2,437,70 m²
- ・構造・建築年 鉄筋コンクリート造 3 階建(昭和 57 年築)

■田尻歴史館（愛らんどハウス、大阪府指定有形文化財、近代化産業遺産）

- ・所在地 大阪府泉南郡田尻町吉見 1101 番地 1
- ・敷地面積 3,864 m²（借地 628 m²含む）
- ・構造・建築年 洋館：煉瓦造 2 階建（大正 11 年築）
和館：木造 2 階建寄棟造（大正 11 年築）
茶室：木造 2 階建寄棟造（建築年不詳）
北蔵：木造平屋建（建築年不詳）
中蔵：土蔵造 2 階建（大正 11 年築）
南蔵：土蔵造 2 階建（大正 11 年築）

※平成 28 年度より耐震診断工事等のため閉館中

■田尻町多目的グラウンド（潮風グラウンド、シーサイドドーム）

- ・所在地 大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺 883 番地 5
- ・敷地面積 14,048 m²
- ・構造・建築年 屋外グラウンド：ナイター照明付野球場（平成 10 年竣工）
屋内グラウンド：ドーム型膜構造鉄筋コンクリート造（平成 10 年築）

■田尻町立尾張池スポーツ公園・第 1 テニスコート

- ・所在地 大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺 134 番地 1
- ・敷地面積 18,869 m²（一部共有地）
- ・構造・建築年 尾張池スポーツ公園（昭和 58 年竣工）
テニスコート 1 面（昭和 60 年竣工）

■田尻町営プール

- ・所在地 大阪府泉南郡田尻町吉見 713 番地 2
- ・敷地面積 1,713 m²
- ・構造・建築年 25mプール 1、こども用円形プール 1 (昭和 41 年竣工)
管理棟：鉄筋コンクリート造平屋建 (昭和 41 年築)

■田尻町駅前広場 (田尻町立中学校総合運動場を廃止 平成 23 年 3 月 31 日)

- ・所在地 大阪府泉南郡田尻町吉見 425 番地 1
- ・敷地面積 8,096.65 m²

5 点検・評価

平成 28 年度の教育委員会事務局各課の懸案事項など主要な施策・事業を教育方針・教育目標に掲げた体系を基に抽出し整理しました。

また、事業実施担当課において、点検・評価票を用い、施策・事業の目的に対して可能な限り定量評価を行いました。

○教育委員会活動評価委員会委員の意見（外部評価）

◇学校教育

1 「生きる力」を育む『保幼小中一貫教育』の推進

(1) 「確かな学力」を培う教育の推進

保育所・幼稚園・小学校・中学校がそれぞれ1つしかなく、町の中心部に集中して立地する利点を最大限に生かすべく「生きる力」の育成として、人権教育や国際理解教育などさまざまな分野で一貫性のある教育を実践しているのは評価できる。

特に、英語教育に関しては、英語指導助手（ALT）を1名増員し、2名とすることで、幼稚園から中学校まで ALT とふれあう機会が増えたことは良いことであり、子どもたちの国際理解に関する視野を広げるためにも大いに役立っている。今後も小さいまちならではの特徴を生かした教育の推進を図りたい。

(2) 「豊かな心」と「健やかな体」の育成

学校給食事業については、給食費の一部を町が負担することにより、保護者の負担軽減を図るとともに、食品の増量や品目の増加・変更による給食の量・質の向上を図ったことは、発育盛りの子どもたちに対して良いことである。

また、今後も地産地消を進めるとともに、学校給食及び学校給食を活用した食に関する指導を実施し、食育の推進を図っていただきたい。

(3) 教員の資質・能力の向上

平成 30 年度からの道徳の教科化、平成 32 年度からの外国語の教科化と、それまでの間は次期学習指導要領の本格実施にむけた周知・徹底や移行時期にあたる。新指導要領に対応した指導方法の工夫改善や向上心を持って取り組んでいく必要があることから、教職員に対しての資質向上、能力向上は必要不可欠である。今後も先進的な研究の成果を活かした研修を図り、指導力の向上に積極的に取り組んでいただきたい。

(4) 地域に開かれた信頼される学校園所づくり

学校評議員制度の導入の趣旨としては、より一層地域に開かれた学校づくりを推進していくため、地域住民の学校運営への参画の仕組みを制度的に位置づけたものであるが、小学校、中学校がそれぞれ1つしかなく、面積的にも小さいまちであることから、制度導入に関わらず地域住民の意向把握や協力を得ることは他市町より容易である。しかしながら、この制度に対してどのように取り組み、特色ある教育活動を主体的かつ積極的に展開していくかについては、他市町の事例を参考にして、本町にあう形を検討していく必要がある。

教育情報の発信については、保護者向けに対しては最低でも月1回のペースで情報を発信しているが、町のホームページの活用はいまひとつ図られていないようである。何もかも出せばいいというものではないが、開示できる情報は積極的になおかつ迅速に情報発信

を図り、学校の運営状況等を周知するなど学校の説明責任を果たすように努めていただきたい。

なかよし学級については、平成 28 年度より指定管理者制度として民間企業での運営が開始された。スタート時は不安もあったと思うが、業者の提案による入退室管理システムである「タッチメール」の導入やネイティブスピーカーによる英語活動など民間ノウハウを十分に発揮した新たな取り組みは評価できる。また迅速な対応や受け答えなど好印象との声もあることから、今後も民間のノウハウを生かした良い面を引き出した運営を心がけていただきたい。

2 教育環境の整備充実

(1) 学校施設の整備

児童・生徒の安全面や衛生面などに考慮し、学校教育環境の向上を計画的に改善している点については評価できる。

とくに、平成 28 年度には小学校の非構造部材耐震等改修工事を実施し、平成 29 年度、30 年度には中学校の非構造部材等耐震等改修工事と大規模な工事が続くことになる。今後も引き続き経年劣化の著しい箇所から計画的に改修を図っていただきたい。

その他にも文部科学省の教育情報セキュリティのための緊急提言に対して、計画を前倒しにして ICT 環境の改善を図り、迅速に対応したことは大いに評価できることであり、今後 ICT 教育がより充実されることを期待する。

(2) 学校安全体制の確保

防災教育の充実と危機管理体制の確立については、学校現場における防災教育の推進と、危険発生時の防災計画及び危機管理マニュアルの充実にも努めていただきたい。児童・生徒が安全に避難できるよう日常的な意識向上を図り、自助・共助・公助の考え方にそって、行動できるよう、特に教職員の入れ替わりがあったとしても変わらぬ対応ができるように取り組んでいただきたい。

◇家庭教育・幼児教育

1 『生きる力』を育むための基盤づくり

(1) 保育所・幼稚園における子育て支援体制の充実

保育所と幼稚園による合同保育（幼保一元化）の推進、保育内容の充実については、引き続き務められたい。

また、幼稚園の 3 歳児の受け入れ再開や私立幼稚園への就園の奨励など、待機児童の解消を図るための取り組みは一定評価するが、魅力ある幼稚園づくりを創意工夫して進めるなど更なる取り組みに期待する。

◇社会教育

1 生涯学習の推進

(1) 生涯学習の推進

公民館活動については、盛んに行われている自治体もあればそうでない自治体もある。生涯学習の拠点としての公民館の更なる有効活用と活動の場としての充実にも努めていただきたい。

成人式については、町外からの転入者が増えてきている中で、警察学校の学生を含め、

田尻町で生まれ育った人以外の方も参加しやすいように、同窓会的な成人式から脱却を図っている点は評価できる。今後も参加した人が疎外感を感じることをないように配慮を図っていただきたい。

(2) 郷土の歴史文化の理解と文化財の保存・活用

休館中の歴史館については、来館者・利用者の安全確保のために耐震診断等を行っているのはわかるが、長期休館中との情報しかないことから、いつ開館するかを多く聞くところである。文化財の補修は普通の建物と違ってすぐにはできないことは理解するが、開館中は好評の施設であったことから、できるだけ速やかに再オープンできるよう努力されたい。

平成29年度 田尻町教育委員会 点検・評価票
(平成28年度実施事業)

1 事業名	小中一貫教育推進事業(国際理解教育推進事業を含む)	担当課	指導課
2 事業の目標	<p>“第4次田尻町総合計画”で示されている「田尻町であるからこそできる、将来にわたって発展・維持が可能な魅力あるまちづくりの創造」を視点として、連続性・系統性のある田尻町の教育を展開し、保幼小中一貫教育をめざす。とりわけ学校教育では、教育施策の柱として『小中一貫教育』を推進し、本町の子どもたちに「確かな学び」と「豊かな育ち」の実現を図る。</p> <p>また、学校・家庭・地域がそれぞれの責任を果たしながら連携協力し、新しい時代を切り拓く心豊かで、たくましい子どもの育成に努める。</p>		
3 事業の概要	<p>義務教育の小学校6年間と、中学校3年間をそれぞれで完結するのではなく、9年間というスパンの中で子どもたちの育ちをつなぐという考えのもと、①教科指導からの学び、②生徒指導や人権教育で培う豊かな心、③さまざまな特別活動、を切り口としながら、連携教育として『小中一貫教育』に取り組む。</p> <p>特に平成28年度は、これまでの各部会の活動は継続しながら、国際理解教育を中心に据え、支援教育、情報教育、道徳教育など、全教職員参加の研修会も実施しながら意識改革を図る。</p> <p>具体的には、 [小学校] 国際理解教育(食育を含む)の授業研実施 [中学校] 全生徒を対象に、英検受験を実施 [小・中] 7月と8月に全教職員対象の講演会を実施 3月に実践交流会を実施するとともに、情報教育に関する講演会を実施</p>		
	決算額	1,760 千円	(うち特定財源 0 千円)
4 実績・点検評価	<p>本町のめざす子ども像実現に向けた、研修会及び各部会を実施。 全中学生対象に、英検受験を実施。 (3年生→10月実施、1,2年生→1月実施) [全教職員参加による研修会] ・6月…小中一貫教育全体会 ・7月…講演会((株)千房 代表取締役 中井 政嗣 氏) ・8月…講演会(和歌山大学教育学部附属小学校 校長 船越 勝 氏) ・3月…実践交流会及び講演会(和歌山大学教育学部 教授 米沢 好史 氏)</p>		
	点検結果	B	<p>A : 目標を上回って達成 B : 概ね目標どおり達成 C : 目標を下回った</p>
5 課題・対応策	<p>本町がめざす子ども像の実現に向けて、今後も協議・運営組織の活性化を図り、学校園の交流活動の拡充及び9年間をつなぐカリキュラムをもとに、『小中一貫教育』を推進していくことが重要である。</p> <p>また今年度同様、英語教育についても取組みを継続・発展させることは、子どもたちの国際理解に関する視野を広げるためにも、町関与の必要性は高いと考える。</p>		
	方向性	B	<p>A : 拡大して実施 B : 目標どおりに実施 C : 改善を加えて実施 D : 既に事業目的が達成できたため終了 E : 事業の見直しが必要</p>

平成29年度 田尻町教育委員会 点検・評価票
(平成28年度実施事業)

1 事業名	英語指導助手(ALT)配置事業		担当課	学事課・指導課
2 事業の目標	中学校を中心に小学校・田尻エンゼルにおいて、外国人英語指導助手による英語教育の充実と英会話に慣れ親しむ機会をつくり、日常的な会話や簡単な情報交換などができるよう実践的なコミュニケーション能力の向上を図ることを目的とする。			
3 事業の概要	中学校:英語の授業及び暗唱大会等での指導 小学校:低・中学年の英会話、異文化交流活動 幼稚園:遊びを通しての英会話、異文化交流活動 その他:英語教育推進事業の取り組みにおいて指導に係わる(英検指導等)平成25年8月よりALT雇用形態を町直接採用に変更し、月給制嘱託員として雇用している。			
	決算額	6,913 千円 (うち特定財源		0 千円)
4 実績・点検評価	平成28年度より、英語指導助手(ALT)を1名増員し、2名とすることで、幼稚園から中学校まで、すべての幼児、児童、生徒がALTと関わることができるようになった。 小学校では、平成32年度からの新学習指導要領の『小学校外国語の教科』に向け、ALTとのコミュニケーション活動を通じて、児童がお互いを理解し、伝え合う喜びや楽しさを体験している。 中学校では、授業で4技能(聞く、話す、読む、書く)をバランスよく育成するため、ALTを活用したコミュニケーション活動を多く設定している。また、英語の暗証大会等の課外活動においても、ALTの指導のもと、優れた成績を残した。			
	点検結果	A	A : 目標を上回って達成 B : 概ね目標どおり達成 C : 目標を下回った	
5 課題・対応策	小学校外国語活動と中学校英語科との円滑な移行を図るため、より一層の小中一貫教育の推進が必要である。 平成25年度から英語教育推進事業が始まり、ALTの役割への期待度も高く、効果的に活用できるよう学校側とより一層連携を図っていく。			
	方向性	B	A : 拡大して実施 B : 目標どおりに実施 C : 改善を加えて実施 D : 既に事業目的が達成できたため終了 E : 事業の見直しが必要	

平成29年度 田尻町教育委員会 点検・評価票
(平成28年度実施事業)

1 事業名	人権教育推進事業		担当課	指導課
2 事業の目標	<p>田尻町人権教育研究協議会 人権尊重の精神に徹し、全ての人権問題の解決をめざした人権教育の研究・実践・教材開発・研究部会の活動実践・大人研や泉南人研との連携等とおして、人権教育のさらなる推進をめざす。</p> <p>田尻町在日外国人教育研究協議会 町内全教職員の相互交流を軸に、研究や実践・教材開発・各種研修会や研究大会への参加等とおして、在日外国人教育のさらなる推進をめざす。</p> <p>両研究協議会とも、保幼小中の全教職員で組織している。</p>			
3 事業の概要	<p>田尻町人権教育研究協議会 全教育活動を通じて、人権教育の指導研究・実践活動推進を図るとともに、部落差別をはじめとする人権侵害に対する正しい認識と行動力を身につけた、民主的な人間の育成を期するために補助を行う。</p> <p>田尻町在日外国人教育研究協議会 人権保障の国際的趨勢について理解を深めるとともに、在日外国人問題を正しく理解し、民族的・人種的な偏見や差別意識を解消するために補助を行う。</p>			
	決算額	438 千円	(うち特定財源	0 千円)
4 実績・点検評価	<p>田尻町人権教育研究協議会 人権教育推進の中核的な位置にあり、町人権行政との連携を密にした田尻町人権教育を推進する母体組織である。 ○ 活動実績: 1市3町人権研等32名、夏季研修10名、 全国人権・同和教育研究大会(熊本大会から大阪大会に変更)2名、 大人教夏季研26名、大人教中河内大会5名、泉南人権研究集会7名、 総会・報告会5回</p> <p>田尻町在日外国人教育研究協議会 国際化の進展に伴い、在日外国人教育の必要性は益々高まっており、田尻町在日外国人教育を推進する母体組織である。 ○ 活動実績: 府外教総会1名、府外教大会(南河内大会)5名、 総会・報告会5回</p>			
	点検結果	B	<p>A : 目標を上回って達成 B : 概ね目標どおり達成 C : 目標を下回った</p>	
5 課題・対応策	<p>両研究協議会は、人権諸課題について全教育活動を通じて、学校組織全体として意識向上に努め、主体的に研究・実践を推進していくことが重要である。</p>			
	方向性	C	<p>A : 拡大して実施 B : 目標どおりに実施 C : 改善を加えて実施</p> <p>D : 既に事業目的が達成できたため終了 E : 事業の見直しが必要</p>	

平成29年度 田尻町教育委員会 点検・評価票
(平成28年度実施事業)

1 事業名	特別支援・教育相談等事業	担当課	こども課・指導課
2 事業の目標	<p>いじめ、不登校、行き渋り、非行、育児不安等を抱える悩みは減少することがなく、教育相談体制の必要性が求められていることから、教育相談体制の充実を図るとともに、カウンセラー同士の連絡調整を円滑に進め、早期の気づき・的確な継続性のある支援を行っていく。</p> <p>また、障がいのある児童生徒が一人ひとりのニーズに応じたきめ細かい教育環境の向上に努める。</p> <p>就学相談や進路相談等、よりよい学校生活を送り、その後の進路選択に向けて、適切な判断ができるよう各種関係機関との連携を図りながら教育相談を実施する。</p>		
3 事業の概要	<p>臨床心理士2名を教育心理相談員として委嘱し、就学前から義務教育までの教育相談を実施する。</p> <p>小学校では「はっぴいルーム」、町相談事業では「たじりカウンセリングルーム」として、週1回行っている。</p> <p>また、月2回程度田尻エンゼルとも連携をとり、発達相談を行っている。</p> <p>個別の教育支援計画の見直し、改善。支援学校との協働研究の実施。地区支援教育研修会での取り組み報告。</p> <p>警察、カウンセラー、府教育庁、高等学校、支援学校等と連携を図る。</p>		
	決算額	2,919 千円	(うち特定財源 0 千円)
4 実績・点検評価	<p>「はっぴいルーム(小学校)」では年38回(266時間)、「たじりカウンセリングルーム」では年45回(225時間)開設し、その利用者数は延べ50人以上になる。たじりエンゼルでは年18回(117時間)開設し、その利用者は延べ41人である。</p> <p>中学校では、大阪府教育委員会から派遣された臨床心理士によって年35回(210時間)開設し、相談事業を実施している。</p> <p>府立泉南支援学校との協働研究により、障がい理解教育(教員向け)研修を実施。視覚、聴覚、色覚等、見え方聞こえ方の違いと特性について理解を深めた。見えにくい障がいについても、講義を受け、教員の資質向上につながった。</p> <p>泉南地区支援教育研修会において町立小学校の協働研究の取り組みを広く発信することができたが、個別の教育支援計画の様式については今後の改善が必要である。</p> <p>また、相談事業については年間50件程度の相談を受け、必要に応じてカウンセリングや個別相談を行い課題の解決に取り組んでいる。</p>		
	点検結果	B	<p>A : 目標を上回って達成</p> <p>B : 概ね目標どおり達成</p> <p>C : 目標を下回った</p>
5 課題・対応策	<p>特別支援・教育相談等については、年々保護者等への支援の必要性が強く感じられる。これまで以上に本人・保護者との合意形成を図るため、様式の見直しが必要になってくる。学校や各関係機関と情報共有を図り、体制の充実を図っていく必要がある。</p>		
	方向性	B	<p>A : 拡大して実施</p> <p>B : 目標どおりに実施</p> <p>C : 改善を加えて実施</p> <p>D : 既に事業目的が達成できたため終了</p> <p>E : 事業の見直しが必要</p>

平成29年度 田尻町教育委員会 点検・評価票
(平成28年度実施事業)

1 事業名	学校給食事業	担当課	学事課
2 事業の目標	学校給食が児童及び生徒の心身の健全な発達に資するものであり、かつ、児童及び生徒の食に関する正しい理解と適切な判断力を養う上で重要な役割を果たすものであることに鑑み、学校給食及び学校給食を活用した食に関する指導を実施し、学校給食の普及充実及び学校における食育の推進を図る。		
3 事業の概要	学校給食法にもとづく事業。 本町では小・中学校で完全給食を実施。		
	決算額	63,795 千円	(うち特定財源 32,536 千円)
4 実績・点検評価	(実績) 年間食数: 小学校111,474食、中学校43,424食 給食費: 小学校 230円～250円/食、中学校300円/食 給食委託料: 19,440千円 賄材料費: 38,083千円 (評価) 学校栄養教諭1名を配置し、献立の作成については、小・中各PTA代表も委員として参加している田尻町学校給食献立作成委員会にて毎月の内容について検討・改善を行いながら進めてきた。 また、調理業務については、平成25年度から平成29年度までの5箇年契約で民間委託を実施しており、当該栄養教諭の管理指導の基、安心・安全な給食を安定して提供することができた。 更に「教育・子育て支援策」として、給食費の一部を田尻町が負担することにより、保護者の負担軽減と食品の増量や品目の増加・変更による給食の量・質の向上を図る。来年度の実施に向けて制度の構築を行った。 小学校 現行: 1食 230円 が、 改正後: 1食 低学年 230円、中学年 240円、高学年 250円(うち保護者負担額 1食 200円) 中学校 現行: 1食 250円 が、 改正後: 1食 300円 (うち保護者負担額 1食 220円)		
	点検結果	B	A : 目標を上回って達成 B : 概ね目標どおり達成 C : 目標を下回った
5 課題・対応策	適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図るとともに食に関する正しい知識や望ましい食習慣を身につけることが大切であり、子どもたちの生涯にわたる間断のない食育の推進を図っていく。 また、アレルギー対応についても、新たに国より「学校給食における食物アレルギー対応指針」が示されたことから、本町においてもマニュアル作成等の対応に取り組んでいく必要がある。		
	方向性	A	A : 拡大して実施 B : 目標どおりに実施 C : 改善を加えて実施 D : 既に事業目的が達成できたため終了 E : 事業の見直しが必要

平成29年度 田尻町教育委員会 点検・評価票
(平成28年度実施事業)

1 事業名	学校園介助員配置事業	担当課	学事課・こども課
2 事業の目標	障がいのある園児・児童・生徒が安全に適切な教育を受けることができるように支援するため、介助員を配置し、個に応じた指導の充実を図ることを目標とする。		
3 事業の概要	介助員は、学校園長及び学級担任等の指示・指導を受け、子どもの介助及び安全管理並びに学習の補助等を行う。		
	決算額	21,500 千円	(うち特定財源 0 千円)
4 実績・点検評価	介助員を幼稚園に3名、小学校に12名、中学校に2名を配置したことにより、障がいのある子どもが安全に適切な教育を受けさせることができた。		
	点検結果	B	A : 目標を上回って達成 B : 概ね目標どおり達成 C : 目標を下回った
5 課題・対応策	障がいのある子どもに対する個に応じた教育を充実させるため、教職員等のより一層の資質向上に向けた研修事業や介助員による子どもに対する安全教育の充実を図っていく必要がある。		
	方向性	B	A : 拡大して実施 B : 目標どおりに実施 C : 改善を加えて実施 D : 既に事業目的が達成できたため終了 E : 事業の見直しが必要

平成29年度 田尻町教育委員会 点検・評価票
(平成28年度実施事業)

1 事業名	小・中学校就学奨励事業	担当課	学事課												
2 事業の目標	<p>経済的理由により就学困難と認められる児童・生徒の保護者に対して、必要な経済的援助を行うことを目標とする。</p>														
3 事業の概要	<p>保護者の申請をもとに、一定の所得制限を設けて認定審査を行い、判定結果を保護者へ通知する。学期ごとに保護者又は学校長に給食費・学用品費・校外活動費・修学旅行費等を支給する。 なお、平成28年度より、校外活動費(宿泊)及びPTA会費・生徒会費について、新たに支給することとなった。</p>														
	決算額	7,119 千円 (うち特定財源 240 千円)													
4 実績・点検評価	<p>小・中学校長を通じて、すべての児童・生徒の保護者へ就学援助制度の周知を図ることで、経済的理由により就学困難と認められた児童・生徒の保護者に対する支援が適正に実施できた。 (認定状況)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">在籍者</th> <th style="text-align: center;">認定者数</th> <th style="text-align: center;">認定率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td style="text-align: center;">549人</td> <td style="text-align: center;">55人</td> <td style="text-align: center;">10.02%</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td style="text-align: center;">262人</td> <td style="text-align: center;">46人</td> <td style="text-align: center;">17.56%</td> </tr> </tbody> </table>				在籍者	認定者数	認定率	小学校	549人	55人	10.02%	中学校	262人	46人	17.56%
	在籍者	認定者数	認定率												
小学校	549人	55人	10.02%												
中学校	262人	46人	17.56%												
	点検結果	B	<p>A : 目標を上回って達成 B : 概ね目標どおり達成 C : 目標を下回った</p>												
5 課題・対応策	<p>児童・生徒数や認定率を予測したうえで、事業費の予算を確保する必要がある。また、今後の生活保護法の改正、消費税率の改定に伴い、本制度の認定基準、給付額等が見直される可能性がある。特に新入学学用品の支給方法について、国及び近隣市町村の動向を注視しながら、適正に制度の運営を行っていく必要がある。</p>														
	方向性	B	<p>A : 拡大して実施 D : 既に事業目的が達成できたため終了 B : 目標どおりに実施 E : 事業の見直しが必要 C : 改善を加えて実施</p>												

平成29年度 田尻町教育委員会 点検・評価票
(平成28年度実施事業)

1 事業名	クラブ活動奨励事業	担当課	学事課
2 事業の目標	<p>中学校教育において、クラブ活動は健全なる心身の育成や社会性の確立を図るうえで教科指導にも匹敵する重要性を担っている。</p> <p>クラブ活動において、生徒が対外試合・各種大会等に積極的に参加しており、大会参加費用の一部を負担することによって、さらなる活動の活性化となり、もって教育の振興に寄与することを目的とする。</p>		
3 事業の概要	<p>田尻町立中学校部活動奨励費交付要綱に基づき、対外試合・競技大会・音楽会等に出場若しくは出演する生徒について、本町から開催地までの交通費等を生徒の保護者へ補助する。</p>		
	決算額	1,164 千円	(うち特定財源 0 千円)
4 実績・点検評価	<p>クラブ数:9(運動部4、文化部5)</p> <p>クラブ活動奨励事業を実施したことで、中学校の卓球・テニス・バスケット・陸上競技等へ生徒は積極的に対外試合・競技大会に参加し、交通費等活動費における保護者負担の軽減を図ることができた。</p> <p>第43回全日本中学校陸上競技選手権大会(8月 長野県松本市)及び第47回ジュニアオリンピック陸上競技大会(10月 横浜市)並びに平成28年度近畿中学校総合体育大会 駅伝競走の部(12月 和歌山県田辺市)へ出場した選手への支援を行い、さらなる活躍に向けた取り組みを行うことができた。中でも、近畿中学校総合体育大会 駅伝競走の部においては、男女アベック出場となった。</p>		
	点検結果	B	<p>A : 目標を上回って達成</p> <p>B : 概ね目標どおり達成</p> <p>C : 目標を下回った</p>
5 課題・対応策	<p>生徒及び保護者の期待に応えられるようにクラブ活動の推進と活性化を図っていく必要がある。</p>		
	方向性	B	<p>A : 拡大して実施</p> <p>B : 目標どおりに実施</p> <p>C : 改善を加えて実施</p> <p>D : 既に事業目的が達成できたため終了</p> <p>E : 事業の見直しが必要</p>

平成29年度 田尻町教育委員会 点検・評価票
(平成28年度実施事業)

1 事業名	教員の資質向上・能力向上事業		担当課	指導課
2 事業の目標	<p>社会情勢の変動に伴い、学校を取り巻く環境も大きく変化する中、子どもたちの「生きる力」をより一層育む質の高い教育が求められ、その充実のためには、教員の資質能力の負うところがきわめて大きい。</p> <p>平成30年度からの道徳の教科化、32年度からの外国語の教科化等、次期学習指導要領に対応した指導方法の工夫改善や、子どもたちに育むべき力を理解し、向上心を持って取り組む必要がある。</p> <p>そのため、教職員を対象に研修を実施し、指導力向上を図るとともに、先進的な研究の成果を活かした研修内容の工夫をめざす。</p>			
3 事業の概要	<p>生徒指導、特別支援教育、人権教育、道徳教育、英語教育、教育課程、子ども理解教育、ICT教育を始めとして、各キャリアに応じた研修を実施する。教員として身につけておくべき事項を、管理職等研修、初心者研修、ミドルリーダー研修、事務職員研修等役職ごとに実施し、教職員の資質向上に努める。</p>			
	決算額	90 千円 (うち特定財源		千円)
4 実績・点検評価	<p>年々若年化が進む学校現場のニーズに合わせて、基本的な内容から専門的なものまで幅広く実施することができた。地域の子どもの現状をしっかりと見据え、本町の子どもの成長に導くための教職員の資質向上に向けて取り組むことができた。</p> <p>公開授業を伴う校内研究での指導助言(小学校3回・中学校2回) 初任者研修(15回程度) 5年次研修・10年経験者研修(5回程度) 道徳授業づくり研修(4回) ICT研修(3回)</p>			
	点検結果	B	<p>A : 目標を上回って達成 B : 概ね目標どおり達成 C : 目標を下回った</p>	
5 課題・対応策	<p>教員の資質向上及び指導力向上をめざして、今日的な教育課題をテーマに研修を実施しているが、子どもたちの現状を見据え、新たな課題等への対応とともに、今後も充実した教員等研修が重要となる。</p>			
	方向性	A	<p>A : 拡大して実施 B : 目標どおりに実施 C : 改善を加えて実施</p> <p>D : 既に事業目的が達成できたため終了 E : 事業の見直しが必要</p>	

平成29年度 田尻町教育委員会 点検・評価票
(平成28年度実施事業)

1 事業名	教育行政円滑推進事業		担当課	学事課・指導課
2 事業の目標	教育委員会相互の連絡を緊密にし、協力して教育行政の円滑な推進を図り、教育の振興発展に寄与することを目的にする。			
3 事業の概要	大阪府内の町村教育委員会の委員及び教育長を持って組織する町村教育委員会連絡協議会と泉南郡三町(熊取町、田尻町、岬町)教育委員会の委員及び教育長をもって組織する泉南郡三町教育委員会協議会があり、それぞれにおいて各種研修事業を実施する。			
	決算額	238 千円 (うち特定財源		0 千円)
4 実績・点検評価	<p>教育委員等研修は、郡三町教育委員会協議会においては総会時に、町村教育委員会協議会においては夏季研修会として実施しており、管理職人権研修や就学支援研修、人権教育研修、教育課題等研修、事務職員研修などの教職員等研修を実施した。</p> <p>また、就学支援研修においては、年間6回実施し、適正な就学に向けた研修及び就学相談や支援委員会を行った結果、郡三町が連携を図り、児童生徒が自分らしく生き生きと過ごすことができることをめざした取り組みを行うことができた。</p>			
	点検結果	B	<p>A : 目標を上回って達成</p> <p>B : 概ね目標どおり達成</p> <p>C : 目標を下回った</p>	
5 課題・対応策	教職員等が日々の研鑽に努めるとともに、教育委員会における諸課題等について研修会を実施することにより、質の高い教育指導が行えるよう今後も引き続き、広域での研修事業を行っていく必要がある。			
	方向性	B	<p>A : 拡大して実施</p> <p>B : 目標どおりに実施</p> <p>C : 改善を加えて実施</p> <p>D : 既に事業目的が達成できたため終了</p> <p>E : 事業の見直しが必要</p>	

平成29年度 田尻町教育委員会 点検・評価票
(平成28年度実施事業)

1 事業名	適切な学校評価と学校評議員制度の活用	担当課	指導課
2 事業の目標	学校運営に関し、保護者や地域住民の意向を把握、反映し、その協力を得るとともに、学校としての説明責任を果たし、もって開かれた学校づくりの推進並びに、学校、家庭、地域の連携協力図り、三者一体となった地域ぐるみで教育活動を充実していくことを目標とする。(田尻町立学校評議員設置要綱(平成20年4月策定)第2条より)		
3 事業の概要	学校長の求めに応じ、学校評議員より、学校運営や評価等、意見を聴取する。		
	決算額	0 千円 (うち特定財源	0 千円)
4 実績・点検評価	学校評議員制度を活用できていない。		
	点検結果	C	A : 目標を上回って達成 B : 概ね目標どおり達成 C : 目標を下回った
5 課題・対応策	1小1中の本町として、取り組みやすい制度の活用方法を考える必要がある。		
	方向性	E	A : 拡大して実施 B : 目標どおりに実施 C : 改善を加えて実施 D : 既に事業目的が達成できたため終了 E : 事業の見直しが必要

平成29年度 田尻町教育委員会 点検・評価票
(平成28年度実施事業)

1 事業名	教育コミュニティづくり推進事業	担当課	社会教育課
2 事業の目標	学校・家庭・地域の協働による、さまざまな取組みを地域全体で進めることにより、教育コミュニティづくりの活性化と豊かな人間関係づくりを育み、さらなる地域の教育力をめざす。		
3 事業の概要	平成13年に創設された「田尻中学校区地域教育協議会(たじりtry・あんぐる)」の実践を基に、地域住民の幅広い人材が地域ボランティアとして自主的に参画し、さまざまな事業を展開する。 学習支援活動、放課後子ども教室(学校開放)、子どもの安全見守り活動、広報活動、講演会等を実施する。		
	決算額	559 千円 (うち特定財源	170 千円)
4 実績・点検評価	<p>放課後子ども教室(学校開放)、子ども110番ウォークラリー大会、たじりハートフルコンサート、まなび舎事業(放課後学習)等、延2500人以上が参加。 子ども110番ウォークラリー大会、たじりハートフルコンサートはそれぞれ実行委員会形式により自主的な企画・運営方式により実施。より一層の教育コミュニティづくりがはかられた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校開放 35回実施、参加児童数1,683名、協力者345名 ・ 学習支援 49回実施、参加児童数3,406名、協力者111名、教員145名 ・ 110番ウォークラリー 参加児童数62名、協力者43名 ・ ハートフルコンサート 出演団体12団体 <p>各取組みにおいては、住民のニーズが高く、継続して事業を展開していくことが必要である。</p>		
	点検結果	B	<p>A : 目標を上回って達成 B : 概ね目標どおり達成 C : 目標を下回った</p>
5 課題・対応策	<p>田尻中学校区地域教育協議会(たじりtry・あんぐる)において、これまで継続して取組んできた成果として、地域ボランティアの人材確保と学校・家庭・地域を繋ぐ教育コミュニティの構築ができ、各実行委員会の自主的な活動も地域に定着している。 平成13年に創設された田尻中学校区地域教育協議会も15年に経過し、世代交代を視野に若年層の新たなボランティア人材の発掘が課題。 各取組みにおいて、充実した取組みを実施していくためには、各種団体の協力が不可欠であり、協力ボランティアの人数増が必要。 各取組みについて、継続しているから続けるというのではなく、当該年度の最初にそれぞれの取り組みを実施するかどうかをtryあんぐるの全体会議で検討して実施している。 ボランティアについては、随時TDFチラシ等に募集の案内を掲載している。 地域の教育力活性化は、子どもたちの健全育成につながり、人づくりは町づくりにもつながることから、地域住民自らが率先して参加協力し、町もサポートしながら地域力の向上に努めなければならない。</p>		
	方向性	B	<p>A : 拡大して実施 D : 既に事業目的が達成できたため終了 B : 目標どおりに実施 E : 事業の見直しが必要 C : 改善を加えて実施</p>

平成29年度 田尻町教育委員会 点検・評価票
(平成28年度実施事業)

1 事業名	放課後児童健全育成事業(なかよし学級)	担当課	こども課
2 事業の目標	児童福祉法に基づき、保護者が労働等により昼間家にいない小学校の児童を対象に、児童のより健全な育成を図るため、適切な遊び及び生活の場（居場所）を与える。		
3 事業の概要	<p>月曜日から土曜日の昼間に保護者がいない小学校の児童を対象に保護者に代わり、児童に家庭機能の補充を兼ねて生活指導を行う。</p> <p>【開設時間】 平日 授業終了後から17時まで 土・三期休業中 8時～17時まで</p> <p>延長 17時～19時まで</p>		
	決算額	19,342 千円 （うち特定財源 8,678 千円）	
4 実績・点検評価	<p>月曜日から土曜日の昼間に保護者が家にいない小学校の児童を対象に保護者に代わり、児童に家庭機能の補充を兼ねて生活指導を行い、児童の健全な育成が図られた。</p> <p>平成28年度 受入児童数 113名 (H28.4.1) 平成28年度から指定管理者制度を導入し、株式会社セリオによる管理運営が行われた。</p> <p>【平成28年度より】</p> <p>① 土・三期休業中の開設時間を『8:30』から『8:00』に保育時間の延長を行った。 ② 入退室管理システム『タッチメール』を導入したことにより、児童の安全管理の強化を図った。 ③ ネイティブスピーカーによる、英語活動を実施した。</p>		
	点検結果	A	<p>A：目標を上回って達成 B：概ね目標どおり達成 C：目標を下回った</p>
5 課題・対応策	<p>共働きの家庭の増加、核家族化等により放課後児童クラブ（なかよし学級）の利用者は増えている。 指定管理者制度による管理運営を、安心安全かつ適正な事業内容となるよう、厳格に指導管理を引続き行っていく。</p>		
	方向性	B	<p>A：拡大して実施 B：目標どおりに実施 C：改善を加えて実施</p> <p>D：既に事業目的が達成できたため終了 E：事業の見直しが必要</p>

平成29年度 田尻町教育委員会 点検・評価票
(平成28年度実施事業)

1 事業名	教育情報の発信事業		担当課	指導課
2 事業の目標	学校からは、児童・生徒から保護者へむけ、それぞれ「たより」、「通信」を、教育委員会からは、「田尻町教育委員会NEWS」や町ホームページを活用し、学校での取り組みや教育委員会の活動内容などを広く周知し、もって情報の公開と透明性の確保を図る。			
3 事業の概要	小学校においては、学校だよりを最低月1回、中学校においては、各学年ごとで、これも最低月1回のペースで保護者に向けて、情報を発信している。それ以外についても、緊急でのお知らせを適宜行っている。 教育委員会においても、「田尻町教育委員会NEWS」を不定期ではあるものの発刊し、広報に織り込んでいく。また、町ホームページを活用し、教育委員会会議の内容や学校行事なども、発信している。			
	決算額	0 千円	(うち特定財源	0 千円)
4 実績・点検評価	今後、町ホームページのさらなる活用を図っていきたい。			
	点検結果	B	A : 目標を上回って達成 B : 概ね目標どおり達成 C : 目標を下回った	
5 課題・対応策	情報は出せばいいというものでもなく、また、古くは意味のないものもある。このバランスに鑑み、今後も積極的に情報の開示、発信を行っていきたい。			
	方向性	C	A : 拡大して実施 B : 目標どおりに実施 C : 改善を加えて実施 D : 既に事業目的が達成できたため終了 E : 事業の見直しが必要	

平成29年度 田尻町教育委員会 点検・評価票
(平成28年度実施事業)

1 事業名	小・中学校施設・設備の充実		担当課	学事課
2 事業の目標	児童・生徒が安心して通学し、充実した内容の教育を受けることができるよう、安全面や衛生面などに考慮しながら、学校教育施設・設備の計画的な改善に努め、学校教育環境の向上を図る。			
3 事業の概要	<p>教育情報セキュリティのための緊急提言が文部科学省よりあり、校務系システムと学習系システムの論理的、物理的に分離する必要が生じたため、セキュリティ要件を満たし、教育の質と児童生徒の学力向上のためICT環境の改善を平成28年度に前倒して整備する。</p> <p>また、経年劣化や老朽化による学校施設・設備を計画的に改修し、教育環境の改善と学校教育の円滑化を図るため、平成28年度は小学校の非構造部材耐震化等工事を実施する。</p> <p>ICT環境整備 1,004千円 小学校非構造 管理委託:2,700千円、工事:55,188千円(交付金:4,184千円) 中学校非構造 実施設計:2,876千円</p>			
	決算額	61,768 千円		(うち特定財源 4,184 千円)
4 実績・点検評価	<p>小学校・中学校のICT環境整備においては、文部科学省よりの緊急提言がなされたことにより、平成28年度に前倒して行い、教育情報セキュリティを要件を満たす整備ができた。</p> <p>小学校においては、非構造部材の耐震改修等工事を円滑に行うことができた。中学校においては、非構造部材の耐震改修等工事の実施設計を円滑に行うことができた。</p>			
	点検結果	A	<p>A : 目標を上回って達成 B : 概ね目標どおり達成 C : 目標を下回った</p>	
5 課題・対応策	<p>小・中学校における校舎・屋内体育館及び空調設備等について、今後も引き続き経年劣化の著しい箇所から計画的に改修を行う。</p> <p>平成26年度より、着手している建築非構造部材の耐震改修を計画的に進め、併せて、災害発生後における学校再開に向けた早期復旧への取り組みを検討していく。</p>			
	方向性	B	<p>A : 拡大して実施 B : 目標どおりに実施 C : 改善を加えて実施 D : 既に事業目的が達成できたため終了 E : 事業の見直しが必要</p>	

平成29年度 田尻町教育委員会 点検・評価票
(平成28年度実施事業)

1 事業名	防災教育の充実と危機管理体制の確立	担当課	指導課
2 事業の目標	<p>学校現場における防災教育の推進と、危険発生時の防災計画及び危機管理マニュアルの充実を進め、児童生徒が安全に避難できるよう日常的な意識向上を図る。また、自助・共助・公助の考え方のもと行動できるように努める。</p>		
3 事業の概要	<p>校内緊急体制や防災避難計画に基づき、火災のみではなく、あらゆる自然災害に対応した訓練を行う。教職員に対しては、自衛消防組織編成表に則って活動するが、状況に応じて臨機応変に対応できるような意識の醸成にも努める。</p>		
	決算額	0 千円 (うち特定財源	0 千円)
4 実績・点検評価	<p>すべての状況に対応したマニュアルを作成することは困難で、想定外をいかに減らすかが重要になる。児童生徒には自らの命を守るための行動を第一としている。また、地震発生時の避難については、垂直避難から水平避難へと移行し今年度の訓練に生かすことができた。</p>		
	点検結果	B	<p>A : 目標を上回って達成 B : 概ね目標どおり達成 C : 目標を下回った</p>
5 課題・対応策	<p>今後は、さらに実践的な状況を想定し、要救助者や行方不明者の搜索等を含めた訓練ができるよう研修を重ねる必要がある。出火元も様々な箇所を設定し、常に同じ避難経路を通ることができないことも予測しなければならない。また教員の入れ替わりにも対応できるようにしなければならない。</p>		
	方向性	C	<p>A : 拡大して実施 D : 既に事業目的が達成できたため終了 B : 目標どおりに実施 E : 事業の見直しが必要 C : 改善を加えて実施</p>

平成29年度 田尻町教育委員会 点検・評価票
(平成28年度実施事業)

1 事業名	幼稚園経営事業	担当課	こども課
2 事業の目標	義務教育及びその後の教育の基盤を培うものとして、幼児を保育し、幼児の健やかな成長のために適当な環境を与えて、その心身の発達を助長することを目標とする。(学校教育法第22条)		
3 事業の概要	幼児教育に必要な教材教具の購入、施設を管理する上で必要となる経費の支出を行い、幼児教育の環境整備に努めた。		
	決算額	12,442 千円 (うち特定財源	0 千円)
4 実績・点検評価	<ul style="list-style-type: none"> ・民生・児童委員、小学生、中学生等と共に事業を行うことで交流を図った。 ・遠足、運動会等の行事を行うことで、「見る・聞く・かぐ・味わう・触れる」といった五感を働かせ心身ともに発達を促した。 ・研修に参加することで、教諭の資質向上を図り、幼稚園教育の充実を図った。 ・園内の環境を維持向上するため、各教諭が施設内を日々点検し確認した。 ・平成19年度から休止していた、幼稚園3歳児の受入れを再開した。 		
	点検結果	B	A : 目標を上回って達成 B : 概ね目標どおり達成 C : 目標を下回った
5 課題・対応策	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所運営との調整を行い、近隣市と連携を深め、多様化する保育ニーズに対応する。 ・今後、3歳児の一元化保育の実施等、保育および子育て支援サービスの拡充を検討する。 		
	方向性	B	A : 拡大して実施 B : 目標どおりに実施 C : 改善を加えて実施 D : 既に事業目的が達成できたため終了 E : 事業の見直しが必要

平成29年度 田尻町教育委員会 点検・評価票
(平成28年度実施事業)

1 事業名	幼稚園給食事業	担当課	こども課
2 事業の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の心身の健全な発育・発達、健康の保持・増進を助ける。 ・栄養・食生活に対する理解を深めることにより、望ましい食習慣・生活習慣を養う。 		
3 事業の概要	<p>幼稚園児（3・4・5歳児）に対し、栄養バランスのとれた給食を提供。 また、アレルギー児の給食については、可能な限り個々に合わせた代替食及び除去食を提供した。 その他、旬の食材や幼児教育の一環として園児が栽培した食材を給食に使用したり、季節行事に合わせた献立を提供したりすることで、栄養・食生活に対する理解を深めた。</p>		
	決算額	29,716 千円 （うち特定財源 3,756 千円）	
4 実績・点検評価	<p>【実績】 年間食数：53,801食 給食費：3歳児2,050円/月、4歳児2,110円/月、5歳児2,160円/月 給食委託料：17,367千円（保育所等を含む） 賄材料費：12,349千円（保育所等を含む）</p> <p>【評価】 栄養士を配置することで食品構成に基づく献立が充実し、施設内の調理場にて調理することにより食の安全が確保され、園児に対し良好な給食事業が提供できた。</p>		
	点検結果	B	<p>A：目標を上回って達成 B：概ね目標どおり達成 C：目標を下回った</p>
5 課題・対応策	<p>アレルギー対応食が年々増加傾向にあり、適切な給食を提供することに限界が生じる恐れがある。 対応可能な範囲を設け、対応できない場合の対策等を幼稚園等と調整のうえ、検討する。</p>		
	方向性	B	<p>A：拡大して実施 B：目標どおりに実施 C：改善を加えて実施</p> <p>D：既に事業目的が達成できたため終了 E：事業の見直しが必要</p>

平成29年度 田尻町教育委員会 点検・評価票
(平成28年度実施事業)

1 事業名	幼稚園就園補助事業	担当課	こども課
2 事業の目標	幼稚園教育の振興に資するため、私立幼稚園の就園する園児の保護者に私立幼稚園就園補助金を交付することにより、保護者の経済的負担を軽減し、もって幼稚園教育の振興を図る。		
3 事業の概要	<p>田尻町在住の幼児が私立幼稚園に在園する場合に、下記の補助金を交付し、園児の保護者に対し、経費の負担を軽減した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就園奨励費補助金 保育料及び入園料について、園児の属する世帯の所得状況に応じて算定した補助金（国庫補助制度に基づく）308,000円（上限） ・就園補助金 保育料及び入園料について、園児の就園年齢及び人数に応じて算定した補助金（田尻町単独）48,000円（上限） 		
	決算額	8,030 千円	（うち特定財源 1,732 千円）
4 実績・点検評価	<ul style="list-style-type: none"> ・就園奨励費補助金 47人 5,629,700円 ・就園補助金 57人 2,400,000円 		
	点検結果	B	<p>A：目標を上回って達成 B：概ね目標どおり達成 C：目標を下回った</p>
5 課題・対応策	<p>本町では、魅力あふれる幼稚園づくりとして幼児教育環境の充実を目指し、大阪府地域福祉・子育て支援交付金を活用し、保護者への経済的支援を行うことにより、子育てを支援する。</p>		
	方向性	B	<p>A：拡大して実施 B：目標どおりに実施 C：改善を加えて実施</p> <p>D：既に事業目的が達成できたため終了 E：事業の見直しが必要</p>

平成29年度 田尻町教育委員会 点検・評価票
(平成28年度実施事業)

1 事業名	生涯学習推進事業	担当課	社会教育課
2 事業の目標	<p>社会教育委員 各地域における社会教育活動の実践や研究成果について交流を深め、研修を重ねながら本町の社会教育推進のリーダー役を担う。</p> <p>生涯学習の推進 公民館講座や出前講座を実施することにより、住民のための生涯学習の機会を提供し、教養向上や健康増進、学習に対する意欲喚起を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進を目標とする。</p> <p>公民館活動の活性化 地域の教育力低下など問題が多様化しているなか、国は公民館施設など教育資源の充分な活用を奨めている。このような中で公民館相互の緊密な連携の元に公民館運営の研究及び情報交換、諸問題解決に向けての研究討議を行い、本町唯一の生涯学習の拠点である公民館の運営を充実させていく。</p>		
3 事業の概要	<p>社会教育委員 社会教育委員の資質向上を図り、先進事例の研究等のため各種研究集会へ参加し、町にフィードバックする。近畿地区社会教育研究大会、泉北泉南地区社会教育委員連絡協議会研修会、大阪府社会教育研究会議への参加。公民館講座企画実施など(文化継承の為のしめ縄作り、伝承料理講座(29年度開催予定)等)。</p> <p>生涯学習の推進 生涯学習推進を図るため公民館講座や出前講座を実施し、学習の機会を提供する。 ・公民館講座: 語学講座、児童・親子対象講座、その他講座等の実施 ・出前講座: 住民の主催する学習会や集会等に行政の職員が求めに応じて講師として出向き、行政の現状やしくみ・事業や施策などの情報を提供する。</p> <p>公民館活動の活性化 近畿公民館大会や大阪府公民館振興協議会、阪南公民館運営研究協議会への参加し、公民館施設の調査・研究を行う。</p>		
	決算額	474 千円	(うち特定財源 0 千円)
4 実績・点検評価	<p>社会教育委員 近畿地区社会教育研究大会(4名)、泉北泉南地区社会教育委員連絡協議会研修会(4名)、大阪府社会教育研究会議(5名)、研修内容について、次年度の公民館講座の企画に反映できるかなど検証。</p> <p>生涯学習の推進 公民館講座(全29回 延べ221人) 語学講座12回(英語であそぼう2コマ13人、英会話5コマ48人、中国語5コマ32人)、児童対象講座等10回(81人 うち英語であそぼう2コマ13人、英会話5コマ48人含む)、親子対象講座3回(36人)、その他11回(72人) 出前講座:0回</p> <p>公民館活動の活性化 他市町公民館事業や阪南公民館運営研究協議会等に参加することで、公民館クラブの情報や個々の公民館で抱えている課題などを情報交換することで、地域間の状況・問題点などが把握できた。</p>		
	点検結果	B	<p>A : 目標を上回って達成 B : 概ね目標どおり達成 C : 目標を下回った</p>
5 課題・対応策	<p>社会教育委員 本町の社会教育の今後の有り様について、具体化してゆく方策を選択する必要がある。情報の収集と検討が求められる。</p> <p>生涯学習の推進 公民館講座について、講座内容の要望が多岐にわたっており、すべての要望に応えることができず、開催日程の関係で定員割れを起し、開催できないこともあるため、要望内容を精査した上で講座を開講している。また、他市町公民館との情報交換を積極的に行い、講座内容の更なる充実に努めている。 出前講座に関しては受講申請がなく、講座の利用に関しての周知方法や利用しやすい方法を考える必要がある。</p> <p>公民館活動の活性化 大阪府公民館振興協議会や阪南公民館運営研究協議会の役員が輪番制になっており、本町公民館だけでなく大阪府内の市町村公民館職員の配置状況が厳しく、そのため定例会や役員会へ参加できない公民館が増加傾向にある。</p>		
	方向性	B	<p>A : 拡大して実施 B : 目標どおりに実施 C : 改善を加えて実施</p> <p>D : 既に事業目的が達成できたため終了 E : 事業の見直しが必要</p>

平成29年度 田尻町教育委員会 点検・評価票
(平成28年度実施事業)

1 事業名	社会教育団体育成事業	担当課	社会教育課
2 事業の目標	<p>田尻町子ども会育成連絡協議会 田尻町子ども会育成連絡協議会の自主的な活動を推進し、子ども達の健全な育成と福祉の増進を図る。</p> <p>田尻町婦人会 各種婦人問題の研究と「健康で明るく住みよい地域社会の実現」を目指す。活動を推進すると共に婦人の社会的地位の向上に努める。</p> <p>田尻町PTA連絡協議会 子どもたちの健全育成とPTA会員相互の研究活動や交流活動・地域活動を目的としたPTA活動の活性化を図る。</p>		
3 事業の概要	<p>田尻町子ども会育成連絡協議会 キャンプ・遠足・ヨットクルージング等の実施、大阪府子ども会育成連合会(ドッジビー大会等)及び泉南ブロック子ども会育成連絡協議会(グラウンドゴルフ大会等)への参加</p> <p>田尻町婦人会 健康づくり推進(健康教室、栄養講座)、ゴミ減量等リサイクル活動、クリーン作戦、ごきぶり駆除薬づくり、福祉活動(給食サービス)、研修会、講演会、大阪府エイフボランタリーネットワーク関連事業等</p> <p>田尻町PTA連絡協議会 教育講演会の実施、広報紙の発行、泉南地区PTA協議会研修会参加、大阪府PTA協議会研究大会参加、近畿ブロックPTA研究大会参加</p>		
	決算額	641 千円	(うち特定財源 0 千円)
4 実績・点検評価	<p>田尻町子ども会育成連絡協議会 子ども会会員数46名、年間参加者延べ人数 約422名</p> <p>田尻町婦人会 婦人会会員数137名、年間参加者数 約800名</p> <p>田尻町PTA連絡協議会 教育講演会130名参加、大阪府PTA協議会研究大会1名参加、近畿ブロックPTA研究大会1名参加、泉南地区PTA協議会研修会10名参加</p>		
	点検結果	B	<p>A : 目標を上回って達成</p> <p>B : 概ね目標どおり達成</p> <p>C : 目標を下回った</p>
5 課題・対応策	<p>田尻町子ども会育成連絡協議会 子ども達を取り巻く環境が厳しい状況の中、役員及び保護者が子ども達の人権を十分に尊重しつつ皆が平等に社会教育を受け、社会的モラルをもって自主的に行動できる、心身ともに強い子どもになれるよう支援していく。</p> <p>田尻町婦人会 会員数の減少と高齢化により、事業の拡充は難しいが、既存事業実施時に会員以外の参加を呼びかけるなどし、活性化を図る。</p> <p>田尻町PTA連絡協議会 保幼小中各単位PTA間の連携を密に取り合い、情報交換等を充実させながら課題を共有し、解決していく。</p>		
	方向性	B	<p>A : 拡大して実施</p> <p>B : 目標どおりに実施</p> <p>C : 改善を加えて実施</p> <p>D : 既に事業目的が達成できたため終了</p> <p>E : 事業の見直しが必要</p>

平成29年度 田尻町教育委員会 点検・評価票
(平成28年度実施事業)

1 事業名	子ども・若者育成支援事業	担当課	社会教育課
2 事業の目標	<p>たじりワイワイフェスタ 青少年の健全育成を目的とし町内の各種団体や学校等の協力を得ながら地域のふれ合い交流活動を行う。</p> <p>成人式 満20歳を迎えるにあたり、式典を開催し、社会人としての自覚を持っていただくとともに、祝い励ます。</p> <p>田尻町青少年指導員会事業 田尻町における青少年活動を積極的に推進し、青少年健全育成と社会環境の整備を図る。</p>		
3 事業の概要	<p>たじりワイワイフェスタ 遊びや体験コーナー並びに諸グループの舞台発表を行い、人と人との繋がりを築く。</p> <p>成人式 一部「式典」と二部「思い出コーナー(新成人による)」を行い、最後に集合写真を撮影する。</p> <p>田尻町青少年指導員会事業 街頭啓発活動、パトロール活動、定例会、青指主催地域のふれあい交流活動(たじりワイワイフェスタ)、大阪府青指協議会研修会参加、泉南ブロック青指協議会交流研修会参加等。</p>		
	決算額	971 千円	(うち特定財源 0 千円)
4 実績・点検評価	<p>たじりワイワイフェスタ 青少年指導員と参加者(約250名)のふれあいを通し地域の絆・親と子の絆を深めることができた。</p> <p>成人式 行政主導から新成人で構成する実行委員会形式での企画運営により手作りの成人式が強調できた(新成人78/137名出席)。</p> <p>田尻町青少年指導員会事業 街頭啓発活動(2回/年)、盆踊り・秋祭りや夜店パトロール活動を通し、青少年の健全育成と社会環境の浄化に寄与した。</p>		
	点検結果	B	<p>A : 目標を上回って達成</p> <p>B : 概ね目標どおり達成</p> <p>C : 目標を下回った</p>
5 課題・対応策	<p>たじりワイワイフェスタ 事業を維持するため毎年度工夫することが必要である。</p> <p>成人式 警察学校ができるなど、これまでのような同窓会的な成人式から脱却し、出席者が誰でも来てよかったと思えるような形態に変更する必要がある、第二部をどのように開催するか更なる検討が求められる。</p> <p>田尻町青少年指導員会事業 青少年を健やかに育むためには、学校・家庭・地域が一丸となって社会環境整備に努める必要がある。そのため、日常的な人のつながりが大切で、絆づくりを長期的な展望で進めてゆくことが求められる。</p>		
	方向性	B	<p>A : 拡大して実施</p> <p>B : 目標どおりに実施</p> <p>C : 改善を加えて実施</p> <p>D : 既に事業目的が達成できたため終了</p> <p>E : 事業の見直しが必要</p>

平成29年度 田尻町教育委員会 点検・評価票
(平成28年度実施事業)

1 事業名	生涯スポーツ振興事業	担当課	社会教育課
2 事業の目標	<p>体育協会事業費補助事業 町民の心身・健康増進に寄与する為に、各種スポーツ競技を行い、大会並びに講習会等の参加を促進する。また、田尻町のスポーツイベントへの協力及び参加の促進を行い、スポーツの振興と発展に寄与する。</p> <p>大阪府総合体育大会運営事業 府内各地域でスポーツを振興し、その普及発展とアマチュアスポーツの精神の高揚を図り、併せて府民の健康づくりに寄与する。</p> <p>スポーツ推進委員協議会事業 スポーツ基本法に基づき、町やスポーツ団体と連携しながら、スポーツ指導、スポーツの楽しさを伝え、誰もが気軽にスポーツに親しめる環境づくりに努める。</p> <p>さわやかニュースポーツ運営事業 町民等にスポーツ活動を実践する場を提供し、参加者一人ひとりにスポーツ・レクリエーション活動への参加意欲を喚起し、泉南地域住民の生涯スポーツの振興に寄与するとともに参加者どうしのコミュニケーションを図る。</p>		
3 事業の概要	<p>体育協会事業費補助等事業 ソフトボール、軟式野球、卓球、硬式テニス、バドミントン、スキー、ソフトテニス、レクリエーション、トランポリン、スポーツ少年団、ゲートボールの11団体に対する事業並びに活動補助を行う。また、青少年スポーツ(スポーツ少年団、水泳連盟)の育成に寄与するため、潮風グラウンド等の使用料を補助し活動を支援する。</p> <p>大阪府総合体育大会運営事業 各市町村代表、地区代表により、日ごろの成果を競う。担当種目の会場運営経費(会場使用料、審判員経費、試合用物品等)を補助している。</p> <p>スポーツ推進委員協議会事業 スポーツの振興のため、各委員の知識並びに研修会等に参加した成果を基にして、町民にスポーツの実技の指導その他スポーツに関する指導、助言を行う。(スポーツ教室の開催等)</p> <p>さわやかニュースポーツ運営事業 さわやかハイキングを実施。(体育協会レクリエーション連盟と共催)ハイキングを通じて自然の中でウォーキング運動することで、健康を促進し、また参加者同士のコミュニケーションが養われることにもつなげる。</p>		
	決算額	5,159 千円	(うち特定財源 2,357 千円)
4 実績・点検評価	<p>体育協会事業費補助事業: (3,210,883円) 社会教育関係(児童育成)補助事業 潮風グラウンド、プール使用料の補助(1,549,000円) 大阪府総合体育大会運営事業 泉南地区大会(ソフトボール 一般男子2部) (173,000円) スポーツ推進委員協議会事業 スポーツ推進委員5名、スポーツ教室、子どもスポーツ教室(105,000円) さわやかニュースポーツ運営事業 奈良県高取城跡ハイキング(120,326円)</p>		
	点検結果	B	A : 目標を上回って達成 B : 概ね目標どおり達成 C : 目標を下回った
5 課題・対応策	<p>体育協会事業費補助事業 一部の団体によっては会員が減少し、活動が縮小している。地方自治体としては、自発的な活動に協力、並びにスポーツができるような条件の整備に努めなければならない。</p> <p>大阪府総合体育大会運営事業 地区大会の開催可能な場所並びに田尻町体育協会の加盟連盟等が少なく、また、各連盟等の人数も少なくなり大会に参加するのが不可能な団体が多い。</p> <p>スポーツ推進委員協議会事業 現在、平成19年度以降は5名で実施しているが、日常的に各委員の時間的な制約及び負担が大きいため増員を検討しているが人員が見つからないため苦慮している。</p> <p>さわやかニュースポーツ運営事業 ニュースポーツをどのようにして、地域に根付かせるかが難しいことから、平成23年度より誰でもが気軽に運動できるハイキングを実施した。今後も効果的な事業を展開できるように継続して検討していく必要がある。</p>		
	方向性	B	A : 拡大して実施 D : 既に事業目的が達成できたため終了 B : 目標どおりに実施 E : 事業の見直しが必要 C : 改善を加えて実施

平成29年度 田尻町教育委員会 点検・評価票
(平成28年度実施事業)

1 事業名	泉州国際市民マラソン事業	担当課	社会教育課
2 事業の目標	<p>関西国際空港の開港を契機に地元9市4町が一つになって、広域行政の推進及び泉州地域の活性化、国際化を目的として、マラソン大会を開催し、泉州地域のスポーツ並びに文化の振興を図る。</p>		
3 事業の概要	<p>泉州9市4町陸上競技会、泉州国際市民マラソン実行委員会主催の国際市民マラソンで、浜寺公園(堺市)をスタートして、りんくう公園(泉佐野市)をゴールとする42.195kmのフルマラソン大会。各市町姉妹都市ランナーの招致や物産展など地域の地場産業の活性化にも寄与する。(宮城県大崎市(宮城県旧田尻町)より2名招致) また、平成20回大会(平成24年度)より1km及び2kmの親子マラソンをゴール会場付近で開催し、ゴール会場での集客を行い大会を盛り上げた。 第23回大会(平成27年度)から、より参加しやすい大会となるよう新種目(10kmマラソン)を導入した。(スタート、ゴールとも堺市)</p>		
	決算額	1,800 千円	(うち特定財源 0 千円)
4 実績・点検評価	<p>フルマラソン 応募者数 6,053人(うち町内 31名)、参加者数 5,270人(うち町内 29名)、完走者数 4,477人(うち町内 25名) 10kmマラソン 応募者数 388人(うち町内 2名)、参加者数 385人(うち町内 1名)、完走者数 255人(うち町内 0名) 1km親子マラソン 応募者数 155組(うち町内 4組) 2km親子マラソン 応募者数 56組(うち町内 2組)</p> <p>大会従事者(ボランティア等) 約5000人(うち田尻町130人) 観客総数 約28万人</p>		
	点検結果	B	<p>A : 目標を上回って達成 B : 概ね目標どおり達成 C : 目標を下回った</p>
5 課題・対応策	<p>大会の実施に際し、多数の沿道スタッフ等としてボランティアの協力がなくては実施できないが、毎年、要員確保や調整に多くの時間を費やしている。 また、運営費用についても、各関係市町からの分担金の他、民間企業等からの協力金等を募り、運営を行っているが、その確保に苦慮している。</p>		
	方向性	B	<p>A : 拡大して実施 B : 目標どおりに実施 C : 改善を加えて実施 D : 既に事業目的が達成できたため終了 E : 事業の見直しが必要</p>

平成29年度 田尻町教育委員会 点検・評価票
(平成28年度実施事業)

1 事業名	町史編纂・文化財保護事業	担当課	社会教育課
2 事業の目標	<p>町史編纂・文化財保護 町が大きく変貌する今、歴史的資料の保存・記録は急務であり、町の歴史を系統的に整理し、住民の地域理解の深化に寄与するとともに、後世に伝える。 町内における埋蔵・有形・無形文化財の調査とその保護を図る。 生涯学習・学校教育への文化財の活用を図ることによって、郷土愛を育成する。</p>		
3 事業の概要	<p>町史編纂 町の歴史に関わる資料の収集とその保存を実施。収集済み資料に関しては、整理、分析、比較、検討を加えて新知見を掘り起こしている。</p> <p>文化財保護 埋蔵文化財緊急発掘調査、その他の文化財調査により有形文化財の発掘、資料整備する。学校教育への民俗資料の貸し出しなど。 田尻歴史館の管理、及び耐震診断の実施及び活用方法の検討。</p>		
	決算額	19,745 千円	(うち特定財源 70 千円)
4 実績・点検評価	<p>町史編纂 資料の収集、整理による成果の内容や新知見については、普及業務として広報紙に記事掲載を行っている(12回、通号180号)。</p> <p>文化財保護 埋蔵文化財について69件の開発調整、1件の試掘調査を実施した。また、文化財保護法に基づく発掘届・通知15件あり、そのうち指示事項は慎重工事12件、工事立会3件であった。 田尻歴史館においては、平成27年度末で指定管理期間が終了したのを機に、耐震工事に着手すべく、平成28年度より長期休館し、耐震診断を実施し歴史館の耐震力の有無を確認し、歴史館と他の社会教育施設との一体的な施設としての利活用のあり方などを検討。</p>		
	点検結果	C	<p>A : 目標を上回って達成 B : 概ね目標どおり達成 C : 目標を下回った</p>
5 課題・対応策	<p>町史編纂・文化財保護 家屋の建替え、世代交代が進み、歴史的資料の収集や聞き取りが難しくなっている。また、貴重な資料が散逸する危険性があり、継続的に資料調査を行う必要がある。 調査・保護制度を確立し、文化財保護意識の高揚を図る必要がある。 歴史館については、耐震診断の結果をもとに、今後は実施設計、耐震補強等工事と計画的に進めていく必要がある。</p>		
	方向性	C	<p>A : 拡大して実施 B : 目標どおりに実施 C : 改善を加えて実施</p> <p>D : 既に事業目的が達成できたため終了 E : 事業の見直しが必要</p>